

Rd
RECYCLE DESIGN

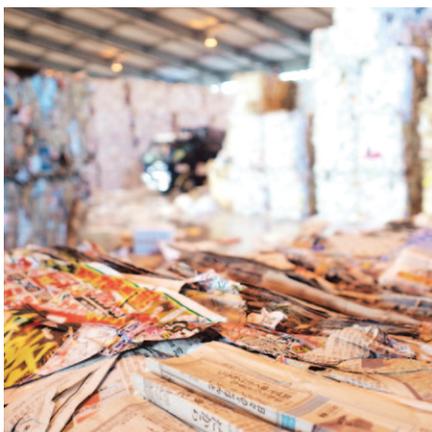
Apr. 2014 No. 235
横浜型地域貢献企業最上位認定取得

RECYCLE
Design



特集 **古紙回収業者は
3分間で勝負する**

古紙回収業者は 3分間で勝負する



月刊RDは4月号から誌面を大幅にリニューアルしました。今年度はリサイクル業に携わる人々とリサイクル組合の活動を読者の皆さんによりよく知っていただくための記事をお届けします。4月号の特集は古紙回収業者。資源集団回収などで皆様が見かけることの多い古紙回収業者ですが、その実態をどこまでご存知でしょうか。横浜市内を日々走り回る古紙回収業者の奮戦の様子をご紹介します。

撮影協力:けやき株式会社(表紙)、リサイクルポート山ノ内(特集)

**時間に追われ、効率化に悩み
一日中走って手にするもの**

毎日回収場所と 紙問屋を3往復

横浜市内で働く古紙回収業者のことを読者の皆さんはどのくらいご存知でしょうか。いちばん馴染みがあるのは、週に1回、資源集団回収に出した新聞、雑誌、古着などを集めている姿だと思います。トラックに「よこはま市民の回収」と書かれた黄色い掲示板を貼り、黙々と資源物をトラックに積んでいるのを見たことがあると思います。その姿に「なんだか忙しそうだな」という印象を受けたかもしれません。

では、資源集団回収の日に古紙回収業者がどのように回収しているかをご紹介します。

資源集団回収は朝8時30分から回収する決まりです。そのため、事務所を出発するのは30分ほど前の8時頃。時間になつたらすぐに回収に取りかかります。回収場所を次々とまわりながら、2トントラックに資源物を積み込んでいきます。ときには荷台に投げ込むように積んでい

ますが、実は新聞、雑誌、段ボールをきちんと分けて積んでいます。それぞれ運ぶ場所が異なるため、一瞬で積み分けられないと一人前にはなれないのです。

実は、古紙回収業者にはもうひとつ特技があります。それは、新聞の束を持ち上げて、その中に雑誌などの異物が混じっているかどうかを判断することです。新聞はほとんどが紙の袋に入っていて中身が見えません。しかし、中に雑誌が混じっていたら分別する必要があります。そのため、新聞だけの束の重さを体で覚え、異物の混入を察知できるようにするのが、達人になると雑誌が一冊だけ混じっていても見つけることができるそうです。

さて、トラックはおよそ1.3トンで荷台が一杯になります。これを紙問屋に持って行くのが10時30分頃。新聞、雑誌、段ボールと、それぞれ別に降ろしていきます。11時には回収の続きに戻り、これも14時頃に一杯になって、再び紙問屋に行つて古紙を降ろします。もう一度戻つて残りの回収を続け、16時30分頃に1日

1日のタイムスケジュール

制作:リサイクル組合

8:00	回収車の出発
↓	
8:30	最初の回収スタート
10:30~11:00	1回目の回収が終了。紙問屋へ納品
↓	
11:00	2回目の回収スタート
14:00~14:30	2回目の回収が終了。紙問屋へ納品
↓	
14:30	3回目の回収スタート
16:00~16:30	3回目の回収が終了。紙問屋へ納品
↓	
17:00	帰社

の回収が終わります。最後に紙問屋で古紙を降ろし、すべての業務を終えて事務所に戻るのが17時頃となります。

回収する姿が キビキビしている理由

朝8時30分から回収を初めて、夕方16時30分までの8時間で回収場所を150〜200カ所ほどまわります。つまり移動時間を含めて、1カ所の回収にかけられる時間は、2・4分〜3・2分というくらいになります。古紙回収業者がテキパキとすごい勢いで資源物を積み込む理由はここにありました。効率よく作業しないと、全部の回収場所をまわりきれないことになるのです。

そのため、回収場所の整理整頓は、常に古紙回収業者の切実な願いとなっています。新聞、雑誌、段ボールごとにまとめて分けて整理してあるだけで、町内会の皆さんへの感謝の気持ちで一杯になります。逆に、異物が混じっていたり、分別が誤っている場合などは、心を鬼にしてイエローカードを書き、回収を残します。町の美観が損なわれるため、できるだけ回収したいと思いますが、それはルール違反になるのです。そのうえ、異物混入

回収場所の様子を通じて 住民の声なき声を感じ取る

がある回収場所が続くと確認のために作業が遅れます。時には「回収が遅い」というお叱りの電話が来てしまい、ショックを受けたり、落ち込んだりします。

古紙回収業者は、古紙の束ね方、回収場所の様子を通じて、町内会の皆さんと会話をしています。回収場所はコミュニケーションの場所でもあるのです。単に不用になったごみを決められた場所に出していると考えるのではなく、それを回収する人のことをほんの少し考えてもら

えると、古紙回収業者は、張り切って回収に励むことができるのです。

古紙回収業者はホントに 儲かる商売と言えるか

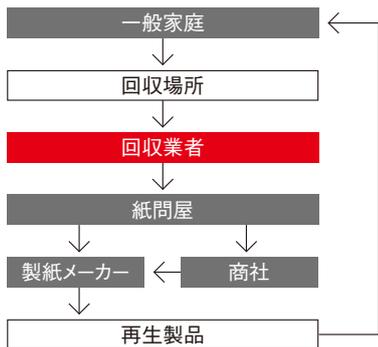
古紙回収業者が1日に回収する古紙の量は前述のように、1・3トン〜3回で3・9トンになります。読者の皆さんの中には、古紙回収業はとも儲かる商売だという噂を聞いた人がいるかもしれませんが、そこで、その噂が本当かどうか、

古紙回収業の売上について、実態を検証してみましよう。

仕事の規模を考えると時に市場規模という尺度があります。そこでまず、古紙回収業の市場規模から考えてみます。環境省が「環境産業」という分類で市場規模や雇用規模の統計を発表していますが、残念ながら「古紙回収業」の統計は見あたりません。そこで古紙再生促進センターが発表している2013年のデータを元に編集部が試算してみました。国内で回収されている古紙のうち、新聞、雑誌、段ボールの3種類の回収量と、その古紙をメーカーが買い取る買取単価から算出すると、古紙回収業の市場規模は約

2800億円になります。ただし、製紙メーカーが紙問屋から買い取る価格を元にしてるので、紙問屋が古紙回収業者から買い取る売上よりも大きくなっています。

これと同規模の業種としては、フィットネスクラブの2941億円(経済産業省統計)があります。しかし、他の業種と比較して決して大きな産業とはいえません。近鉄百貨店の売上が2915億円(2012年度)なので、百貨店1社の売



古紙回収業者が世界経済に 翻弄されるようになるまで

上より小さいのです。

■ 日中かけて回収した 古紙の売上額の実情

次に横浜市の資源集団回収による古紙の売上を考えてみます。資源集団回収の古紙回収量は年間18万2253トン(2012年度)です。古紙回収業者は、古紙を紙問屋に買い取ってもらいますが、紙問屋によって価格は異なります。また、紙の種類によっても違いますので、適切な価格を設定するのが難しいところですが、現在の実勢に近い価格として買取価格を8円/kgと設定すると、その額は約14億6千万円になります。また、古紙の買取価格の相場が下がって回収業者が赤字になってしまうと横浜市が助成金を交付するのですが、その基準価格である7・1円/kgを元に計算すると約13億円となります。資源集団回収の登録団体数は184団体。1団体あたり700〜800万円となります。

では、古紙回収業者の1日の売上はいくらでしょうか。3・9トンの古紙を

リ 才宣言によって 環境対策が本格化

古紙のリサイクルで重要なのが、環境問題との関係です。ここで環境問題の歴史と古紙について紹介します。

60〜70年代に日本の経済は急激に発展すると同時に、数多くの公害が発生しました。公害問題は、その被害と対策を通じて水や大気などの環境汚染に対して人々の関心を高めることとなります。大量生産、大量消費、大量破棄が日本の発展をもたらしたわけですが、環境対策、環境保全を怠りながらしてきたことに気づききっかけにもなったわけです。74年に世界人口が40億人を超え、86年には50億人を突破します。このまま世界各国が無秩序な開発を進め、経済発展をめざせば、やがて地球の資源は枯渇し、地球全体の環境が悪化の一途をたどるのではないかという危機感が生まれました。

このような状況の中、国連は92年にブ

ラジルのリオデジネイロで地球サミットを開催します。これは72年のストックホルム会議以来、20年ぶりのことでした。この会議で、環境と開発に関する27原則が「リオ宣言」として合意され、「持続可能な開発に関する人類の権利」「自然との調和」などが採択されます。そして翌年の93年に日本は「環境基本法」を制定します。「環境への負荷の少ない持続的発展が可能な社会の構築」「国際的協調による地球環境保全の積極的推進」などが謳われ、環境に関するさまざまな分野の法律を整備していったのです。

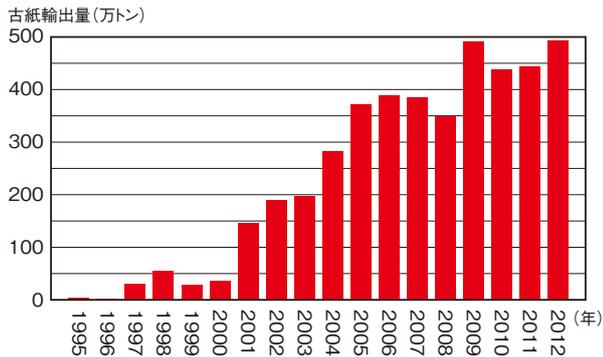
行政回収のスタートと 消えた「ちり紙交換」

当時、ごみ処理が社会問題となっていたこともあり、全国の市町村が本格的な古紙回収に取り組むようになります。それまで行政が回収したごみは、すべて焼却するか埋立処理していました。しかし、焼却による大気汚染やダイオキシンの発生、埋立用地の減少などによって、発生するごみの量を減らすことが切実な課題となっていたのです。そこで、家庭から出されるごみを再利用可能な資源物と、再利用できないものに分別することで、ごみの量を減らしたのです。

こうして、ごみの中に紛れていた古紙が分別され、資源物としてリサイクルさ

古紙の輸出量推移

出典:古紙再生促進センター



れるようになりました。この時、家庭から出される古紙の回収に協力したのが古紙回収業者です。同時に、町内を巡回し「ご不用になった古新聞、古雑誌がございましたらトイレットペーパーと交換いたします」とマイクで流していたお馴染みの「ちり紙交換」が姿を消したのです。しかし、ここで大きな問題が発生します。ごみとして処理されていた古紙が大量に分別され、一気に増加したことで、古紙が過剰供給となってしまったのです。古紙を買い取る紙問屋の買取価格はどんどん下がりがり、ついには買い取りを中止してしまいます。これでは古紙回収業が成り立ちません。行政との契約によって古紙は必ず回収しなければならぬのに、回収した古紙が一円にもならないのです。倒産したり、廃業する回収業者も出てきます。そこで横浜市は、古紙回収業者と交渉を行い、助成金を交付することにします。古紙の相場が古紙回収業として立ちゆかなくなる最低価格を基準として、それより安くなった場合には、

差額の半分を市が助成するのです。これにより家庭から出される古紙の回収は、安定して実施されることになりました。

世界経済に連動して古紙の価格が決まる

ところが、古紙相場はその後もどん



紙メーカーに売ってもわずかな利益にしかならず、さらに大量の古紙が余っています。そこで、始まったのが本格的な古紙の輸出です。それ以前にも古紙は輸出されていましたが、2000年の約37万トンが翌年は約150万トンへと一気に増加しました。

輸出先はほとんどが中国です。「世界の工場」と言われるようになった中国は古紙の需要が非常に高くなっていたのです。こうして古紙を大量に輸出するようになったことで、古紙の価格は世界の需給情勢に影響を受けるようになりました。古紙の需要は世界経済に連動して変化し、紙問屋の買取価格は毎月変更されます。そのため、古紙

どん下落します。古紙回収業者には助成金がありましたが、紙問屋にはありません。回収業者から買い取った古紙を製紙メーカーに売って利益を得ていた紙問屋も相場の下落には大きな痛手を受けたのです。そして2000年。古紙相場はついに最低価格になります。紙問屋は、製

回収業者の毎月の売上は世界の経済状況に左右されるようになったのです。古紙回収業は、忙しくてあまり儲からない仕事ですが、社会インフラのひとつを担っています。回収場所を通じて、地域の皆さんとつながることにやりがいと喜びを感じているのです。

始末の一品

Rd



「始末」とは関西で使われる言葉で、最後まで使い切ること。食材を無駄なく使えば、それだけごみを減らすことができます。そこで食材の使い切りレシピを今月号からご紹介していきます。

今月の食材 【キャベツの芯】

キャベツの芯のかき揚げ



材料(2人分)

- キャベツの芯……適量
- 天ぷら衣……カップ½
- 青のり……小さじ1
- 桜えび・紅しょうが……適量
- 揚げ油

- 1 キャベツの芯は斜め千切りにする。紅しょうがはみじん切りにする。
- 2 ボウルに天ぷら衣と①のキャベツの芯と紅しょうが、青のり、桜えびを入れてさっくりと混ぜる。
- 3 揚げ油の中に②をスプーンで¼ずつまとめながら静かに入れる。時々返してじっくり揚げる。

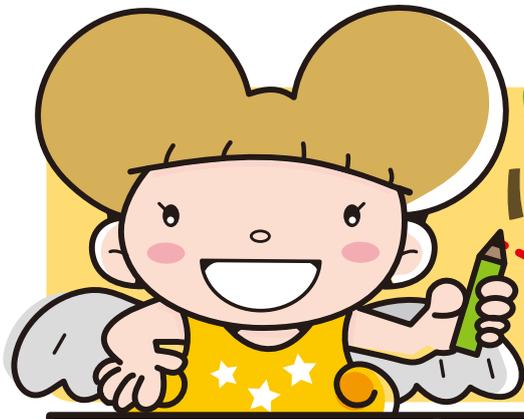
キャベツの芯の卵焼き



材料(2人分)

- キャベツの芯……
- みじん切りで大きじ4
- 卵……2個
- サラダ油……大きじ1
- ケチャップ……小さじ2
- 粒マスタード……小さじ1
- 塩、胡椒……少々

- 1 キャベツの芯は細かいみじん切りにする。
- 2 ボウルに卵を割り入れ、①と粒マスタード、ケチャップ、塩、胡椒を入れてよく混ぜる。
- 3 油を引いた卵焼き器に②を一度に入れ、軽く混ぜながら焼いていく。ある程度固まったら二つ折りにして焼く。4等分に切ってお皿に盛りつける。



これでスッキリ!

No. 1

りくみの分別講座

汚れた段ボールはリサイクルできるの?

1 お団子はないかのお? お花見くみ〜♪

2 トマト大好き♪ トッピングばかり食べちゃダメじゃよ!

3 宴会終了! さあ、片付けよう! あれれ? 宅配ピザの箱って…。

4 これは“段ボール”だよな? 捨てる時は…「古紙」?? う〜ん?

5 箱をよ〜く見るのじゃ。油やよごれが付いておる。 油や汚れが付いた紙は、リサイクルには不向きなのじゃ。だからこのピザの箱は「燃やすごみ」に出すのじゃよ。

6 そうなんだ!! スッキリ♪ 汚れたピザの箱は燃やすごみに捨てるくみ!

7 エコ仙人! これからも分別をきちんと教えて! よろしくくみ★



「TAMAとことん討論会」で「環境絵日記」の事例を発表

リサイクル組合は、2月14日(金)、NPO法人東京・多摩リサイクル市民連邦と財団法人東京市町村自治調査会が主催する「21回TAMAとことん討論会」に参加しました。

このイベントは「多摩地域」のごみの減量をテーマに、多摩の市町村、企業、市民団体などの関係者が集まって毎年開催しているものです。今回のテーマは「次世代に伝えたいごみのこと」で、リサイクル組合は「小

学生と考える環境問題〜環境絵日記の取り組み」と題して事例発表を行い、パネルディスカッションにも参加しました。

来場者には環境教育に関心の高い方も多く、「小学生の環境問題への関心度、理解度はどうですか?」環境絵日記に参加した後のお子さんへの影響度はいかがですか?」などといった質問が寄せられました。特に、環境絵日記のお子さんへの影響については、応募したお子さんが、その後、某畜産大学で研究を重ねている例を紹介し、効果の高さをお伝えしました。

リサイクル組合は、今後もごみ問題を自分自身の問題として捉えることができる子どもたちを一人でも多く育てるために、「環境絵日記」を通して次世代へと繋げていく啓発活動を行っています。

トンガ王国の事業者がリサイクル組合を訪問

2月28日(金)、トンガ王国のリサイクル事業者の方たちが、JICA沖繩のプロジェクトとして日本のごみの減量、適正処理・資源化についてノウハウを学ぶため、リサイクル組合を訪れました。



トンガ王国は南太平洋に浮かぶ島群からなる国で人口は約10万人。横浜市西区(約9・7万人)とほぼ同じ人口です。本島のトンガタブ島には、ごみの最終処分場がありますが、本島から離れたババウ島にはありません。ごみ処分は家庭や集落に任ざれており、回収システムや有価物の分別もほとんど行われていないようです。しかし、生活の近代化により、容器包装や家用車など処理が難しい廃棄物が増え、現在、ごみの減量、適正処理・資源化が急務となっています。

きっかけにリサイクル事業が始まったそうですが、まだ多くの知識を必要としているとのことでした。以前、自動車の廃バッテリーを高く買ってくれる業者があり、取引をしたところ、電解液(希硫酸)をトンガ国内に不法投棄されてしまった経験があり、「自然との共生」をプリンシプル(理念)としてリサイクル事業を進めているとのことでした。

リサイクルデザインのバックナンバーは、ホームページからもご覧いただけます

<http://www.recycledesign.or.jp/rd/>

スマホ、タブレットなどはこちらのQRコードからアクセスできます。



購読者大募集!

月刊「リサイクルデザイン」は、横浜市内の地区センターや図書館、スーパーの他に信用金庫、イオンの一部店舗等で入手いただけます。詳しい設置場所はWebページ(<http://www.recycledesign.or.jp/rd/get.html>)をご覧ください。また、無料購読を希望される方は下記までお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

横浜市資源リサイクル事業協同組合 事務局 山中
TEL : 045-444-2531 E-mail : mail@recycledesign.or.jp

